

プロ・ハイアマチュア向けフルサイズミラーレスカメラ“EOS R5 Mark II”を発売 進化した高性能 AF や動画性能により静止画・動画の撮影領域を拡大

キヤノンは、静止画・動画において、高い撮影性能を実現しながら優れた機動性を兼ね備えたプロ・ハイアマチュア向けのフルサイズミラーレスカメラ“EOS R5 Mark II”を2024年8月下旬に発売します。



EOS R5 Mark II
(RF24-105mm F4 L IS USM 装着時)



約 4500 万画素の高解像度を実現



決定的な瞬間を捉える高精度 AF

“EOS R5 Mark II”は、フラッグシップ機「EOS R1」（2024年11月発売予定）にも搭載されている、高速解析・高速撮影を実現する新開発のエンジンシステム「Accelerated Capture」や、ディープラーニング技術の活用により、静止画・動画性能を「EOS R5」（2020年7月発売）から大幅に進化させることで、多彩な映像表現を実現するフルサイズミラーレスカメラです。自然風景やスポーツなどの静止画撮影から報道や映像制作などの動画撮影まで幅広いシーンでの撮影を一台でカバーする撮影性能と機動性を兼ね備え、プロ・ハイアマチュアユーザーの多様なニーズに応えます。

■ 決定的な瞬間を逃さない高精度 AF や高速連写の実現

新エンジンシステム「Accelerated Capture」とディープラーニング技術の融合により、優れたトラッキング性能を実現しています。被写体が交錯するシーンでも被写体を追いつけるための強化されたトラッキング性能や、サッカーのシュートなどの特定のアクションを認識し素早く AF フレームを合わせる「アクション優先^{*1}」機能などにより、狙った被写体を粘り強く追尾し、撮影し続けることが可能です。また、電子シャッター時、最高約 30 コマ/秒^{*2}を達成しながら、「EOS R5」と比較し、大幅にローリングシャッター歪みを低減しています。さらに、「プリ連続撮影^{*3}」機能を搭載することで、シャッターボタンを押したタイミングから最大約 15 コマ分遡って連続撮影することを可能とし、決定的瞬間を逃さず撮影できます。

■ 約 4500 万画素^{*4}フルサイズ裏面照射積層 CMOS センサーや「ニューラルネットワークノイズ低減」機能による高画質

新開発のフルサイズ裏面照射積層 CMOS センサーにより、約 4500 万画素の高解像度と常用最高 ISO51200（静止画撮影時）の高感度を両立し、高画質な静止画撮影を実現しています。また、ディープラーニング技術を活用した「ニューラルネットワークノイズ低減」機能により、撮影した画像をカメラ内で処理することで、夜景などの高い ISO 感度で撮影した画像のノイズを低減し、高画質な画像を生成することが可能です。

■ 「CINEMA EOS SYSTEM」との機能共通化による本格的な映像制作の実現

フルサイズ画角での 8K/60P RAW 動画^{*5} や 4K SRAW 動画^{*6} をカメラ内部記録で実現しています。さらに、「CINEMA EOS SYSTEM」にも搭載されている、用途に応じて画質調整が可能な「カスタムピクチャー」や中間から暗部の階調性が高い「Canon Log 2」を搭載し、「CINEMA EOS SYSTEM」と親和性の高い画作りが可能です。

- ※1. 静止画、電子シャッター時のみ。画面内で人の大きさが小さい場合や、被写体の一部が隠れていたり、被写体同士が密集している場合には認識精度が落ちる場合があります。対象スポーツはサッカー、バスケットボール、バレーボールです。対象アクションについては公式 WEB サイトをご確認ください。
- ※2. 連続撮影速度の条件およびサーボ AF 時に最高連続撮影速度に対応するレンズについては、キヤノン公式 WEB サイトをご確認ください。
- ※3. シャッタースピードが 0.5 秒より遅いときは不可。AEB 撮影、ストロボ撮影、フリッカーレス撮影、フォーカスブラケット撮影、多重露出撮影は不可。
- ※4. 使用するレンズまたは画像処理によって有効画素が減少することがあります。
- ※5. 8K/60P RAW 記録動画では、ファイルサイズを抑えた軽量 RAW 動画。
- ※6. RAW 動画より軽量のファイルサイズで記録可能な動画形式。

| 製品名 | 希望小売価格 | 発売日 |
|----------------|--------|-----------|
| EOS R5 Mark II | オープン価格 | 2024年8月下旬 |

-
- 一般の方のお問合せ先 : キヤノンお客様センター 0570-08-0002 (直通)

〈“EOS R5 Mark II”の主な特長〉

1) 決定的な瞬間を逃さない高精度な AF や高速連写の実現

- 高速解析・高速撮影を実現する新エンジンシステム「Accelerated Capture」とディープラーニング技術の融合による新たな AF システム「Dual Pixel Intelligent AF」により、優れたトラッキング性能を実現。
- 被写体が交錯するシーンが多いチームスポーツなどでも被写体を追いつけるための強化されたトラッキング性能、人物が小さい場合でも検知可能な「上半身検知」、障害物が被写体の前を横切るシーンなどでも被写体の頭部とその前に重なる障害物を見分ける「頭部領域推定による障害物回避」により精度の高いトラッキングが可能。
- サッカーのシュートなどの特定の動作の被写体をカメラが自動で認識し、素早く AF フレームを合わせる「アクション優先」機能を搭載。
- あらかじめ狙いたい被写体を登録し、優先的に追尾し続ける「登録人物優先^{※1}」機能では、「EOS R3」（2021 年 11 月発売）と比較し、顔が斜め^{※2}に向けた際の検出性能が向上。
- 電子シャッター時、AF/AE 追従しながら最高約 30 コマ/秒を実現し、20 コマ/秒、10 コマ/秒などの中間のコマ速の設定が可能。
- 電子シャッター時のローリングシャッター歪みは「EOS R5」に対して歪み量が約 40% に低減され、高速に動く被写体でも少ない歪みで撮影が可能。
- ファインダーをのぞく瞳の動きで AF 操作が行うことができる視線入力 AF^{※3} を搭載し、検出フレームレートを「EOS R3」比約 2 倍にすることでレスポンスを向上し、光学系も新規設計とすることで目の位置がずれた場合や眼鏡装着時の検出安定性も向上。
- シャッターボタンを押したタイミングより最大約 15 コマ分遡って撮影することができる「プリ連続撮影」機能を搭載し、JPEG/Raw/HEIF において切り出し作業なしで記録可能。



激しい動きの被写体も少ない歪みで撮影

※1. 顔の明るさ、大きさ、表情、動き、顔の一部が遮られるなどの要因により性能が低下する場合があります。

※2. 両目、鼻、口が見える範囲。

※3. 事前に「キャリブレーション」が必要です。サングラスやミラーサングラス、ハードコンタクトレンズ、遠近両用メガネを使用した場合や、目の状態（目が細い／まつ毛が長い／まぶたが厚い）などの個人差、使用環境などにより、視線入力 AF が使用できないことがあります。

2) 約 4500 万画素フルサイズ裏面照射積層 CMOS センサーや「ニューラルネットワークノイズ低減」機能による高画質

- 約 4500 万画素の高解像度と常用最高 ISO51200（静止画撮影時）の高感度を両立しながら、高画質な静止画撮影を実現。
- ボディー内 5 軸手ブレ補正機構を搭載。また、レンズ内光学式手ブレ補正機構を搭載した RF レンズでは協調制御に対応し^{※1}、中心最大 8.5 段、周辺最大 7.5 段^{※2}の手ブレ補正効果を発揮。さらに、広角特有の画面周辺でのブレを抑制する周辺協調制御にも対応^{※1}。
- 「カメラ内アップスケーリング^{※3}」機能では、アプリケーションなどを介することなく、撮影した画像（JPEG/HEIF）から最大約 1 億 7900 万画素の画像をカメラ内で生成し、トリミングしたい場合などに有効。
- RAW で撮影した静止画をカメラ内で処理し、ノイズを低減した高画質な画像をカメラ内で生成する「ニューラルネットワークノイズ低減」機能を搭載。



室内においてもノイズを抑えた撮影が可能

※1. 対応するレンズについては、キヤノン公式 WEB サイトをご覧ください。

※2. CIPA2024 規格準拠。Yaw/Pitch/Roll 補正性能、「RF24-105mm F2.8 L IS USM Z」（2023 年 12 月発売）使用、焦点距離 105mm 時。

※3. 画像処理に時間がかかることがあります。動画撮影中に記録した静止画は、カメラ内アップスケーリング不可。

3) 「CINEMA EOS SYSTEM」との機能共通化による本格的な映像制作の実現

- フルサイズ画角での 8K/60P RAW 動画や 4K/60P SRAW 動画、4K/120P MP4 動画記録をカメラ内部記録で実現。
- 動画撮影中の静止画記録^{※1} にも対応し、動画撮影を停止せずに最高約 7.5 コマ/秒^{※2} の連続撮影を可能とすることで、機材の簡略化など業務効率の向上に寄与。
- 大容量の編集用データとファイルサイズの軽い Proxy 動画を CFexpress カードと SD カードに同時記録することが可能^{※3}。軽量の Proxy 動画を使用することで、PC への送付や編集を効率化。
- 「CINEMA EOS SYSTEM」と共通の仕様として、用途に応じて画質調整が可能な「カスタムピクチャー」や「Canon Log 3」と比較し、中間から暗部の階調性が高い「Canon Log 2」を搭載し、撮影用途に応じた最適な設定を選択することが可能。
- デジタルシネマカメラ「EOS C400」（2024 年 9 月発売予定）と共通のファイルシステム XF-HEVC S/XF-AVC S を採用することで、ワークフローを共通化し、編集作業を効率化。
- カメラから離れた位置でも動画の記録状況を把握することができるタリーランプを搭載。
- 動画撮影ボタンを押す 3 秒前もしくは 5 秒前から映像を記録することが可能な「プレ記録^{※4}」機能を搭載。
- 新製品の「クーリングファン CF-R20E（別売り）」を装着することにより、本体の温度上昇を抑制し、動画撮影可能時間を延長し、8K/30P 時、120 分以上^{※5} の動画記録を実現^{※6}。
- 「RF5.2mm F2.8 L DUAL FISHEYE」（2021 年 12 月発売）を装着することで、180° 3D VR 映像を撮影し、カメラ内で仕上がりイメージの確認が可能^{※7}。



高画質な動画撮影が可能

- ※1. フル HD/30P、フル HD/25P 動画撮影時。静止画（JPEG）は約 3320 万画素（アスペクト比 16:9 7680x4320）で撮影可能。カード 1 に動画、カード 2 に静止画が記録されます。
- ※2. システム周波数 59.94Hz NTSC 時。50.00Hz PAL 設定の場合、最高約 6.2 コマ/秒。
- ※3. Slot1 記録設定が 8K MP4 もしくは 100fps 以上の場合、Proxy 記録不可。
- ※4. RAW 動画撮影、ハイレームレート動画撮影時はプレ記録不可。プレ記録使用時は温度が上昇しやすくなりますので、長時間撮影する場合にはフレームレートを下げるか、フル HD での撮影を推奨します。
- ※5. 23°C 環境下でのコールドスタート時。ファンの回転速度：高速設定、自動電源オフ温度：高設定時。キヤノン試験基準による。
- ※6. 動画撮影時ファンの動作音が記録される場合があります。
- ※7. カメラ内で透視投影変換を実現することで、VR ゴーグルでの片目相当の再生が可能です。

4) プロ・ハイアマチュアユーザーに求められる快適な操作性や通信機能の追及

- 0.5 型、約 576 万ドット、「EOS R5」比輝度約 2 倍の高精細パネルを採用し、快適な見えを実現した高精細電子ビューファインダーを搭載。
- 「EOS R5」同等の防じん・防滴性能^{※1} を備え、マグネシウム合金を外装に採用することで高い堅牢性を実現。
- EOS シリーズではじめて IEEE802.11ax 規格相当に対応し、高速な無線通信を可能とするだけでなく、6GHz（インフラストラクチャーのみ）に対応することで広い周波数帯が使用可能となり、快適な通信性を実現。
- 新製品「バッテリーグリップ BG-R20EP」（別売り）や「クーリングファン CF-R20EP」（別売り）を装着することで有線 LAN 高速規格 2.5GBase-T に対応し、安定した接続環境で大容量の静止画や動画を送信することが可能。
- 新アプリケーション「Content Transfer Professional（有償）^{※2}」では、静止画・動画を 5G/LTE 対応のスマートフォン経由でカメラ本体からファイルを受信し、FTP サーバーへ送信することや、スマートフォンでのタグ付けが可能。



防じん・防滴性能による高信頼性
（図はイメージです。）

- ※1. 防じん・防滴性能を発揮させるため、電池室やカードスロットカバー、端子カバーなどの開閉部をしっかり閉じる必要があります。カメラは防じん・防滴に配慮した構造になっていますが、砂塵や水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。
- ※2. 対応 OS は、iOS/Android。対応バージョンについては、キヤノン公式 WEB サイトをご覧ください。

〈“EOS R5 Mark II”関連アクセサリ〉

■クーリングファン CF-R20EP

- “EOS R5 Mark II”に装着し、カメラ内部に風を送ることで内部を冷却し、温度上昇を抑制。
- カメラ本体の温度上昇を抑制することで、動画撮影可能時間を延長し、8K/30P 時、120 分以上^{※1}の動画記録を実現^{※2}。
- バッテリーを二個装填することが可能。

※1. 23°C環境下でのコールドスタート時。ファンの回転速度：高速設定、自動電源オフ温度：高設定時。キヤノン試験基準による。

※2. 動画撮影時ファンの動作音が記録される場合があります。



クーリングファン CF-R20EP



バッテリーパック LP-E6P

■アイカップ ER-kE

- 外光の入光を抑制することで眼鏡着用時でも安定した視線入力が可能。
- アイカップ部が 360°のレボルビング可能で、縦位置撮影にも対応。

■DC カプラー DR-E6P

- カメラの高性能化・高機能化による必要電力の増加に対応し、安定した電力供給を実現。

■USB 電源アダプター PD-E2

- カメラのデジタル端子に接続することで、カメラ本体に装填したバッテリーパックの充電およびカメラへの給電が可能。

■バッテリーパック LP-E6P

- 高性能化・高機能化による必要電力の増加に伴い、大電流放電に対応。

■バッテリーグリップ BG-R20／バッテリーグリップ BG-R20EP

- “EOS R5 Mark II”に装着することで、縦位置撮影時においても、適切なボタン配置により横位置撮影時に近い感覚で操作が可能。
- バッテリーを二個装填することが可能。

| 製品名 | 希望小売価格 | 発売日 |
|--------------------|--------|---------------|
| クーリングファン CF-R20EP | オープン価格 | 2024 年 8 月下旬 |
| アイカップ ER-kE | | 2024 年 8 月下旬 |
| DC カプラー DR-E6P | | 2024 年 8 月下旬 |
| USB 電源アダプター PD-E2 | | 2024 年 11 月中旬 |
| バッテリーパック LP-E6P | | 2024 年 8 月下旬 |
| バッテリーグリップ BG-R20 | | 2024 年 8 月下旬 |
| バッテリーグリップ BG-R20EP | | 2024 年 8 月下旬 |

〈商品構成（キット内容）〉

| 名称 | 内容 |
|---|--|
| EOS R5 Mark II・ボディ | EOS R5 Mark II |
| EOS R5 Mark II・RF24-105 L IS USM レンズキット | EOS R5 Mark II RF24-105mm F4 L IS USM |

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。<https://personal.canon.jp/product/camera/eos/r5mk2>

〈来歴記録への対応について〉

“EOS R5 Mark II”と「EOS R1」は、2025 年以降に C2PA フォーマットの来歴記録機能に対応する予定です[※]。

※ 2025 年以降に公開予定のファームウェアアップデートが必要です。

- * IOS は、米国およびその他の国々における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- * Android は Google LLC の商標です。
- * 記載されている会社名、製品・サービス名は一般に各社の商標または、登録商標です。